

修了生の活躍事例

ずっとものづくりをやってみたかった！ 生涯の仕事を見つけられました！

長年清掃業に携わってきましたが、何か形に残るものをつくりたい、あるいは関わる仕事をしたいと思っていました。そんな時に、ハローワークでポリテクセンターの存在を知って、これはチャンスと思い窓口で相談しました。手先は器用な方だと思っていたので、少し不安はありましたが溶接ものづくり科を希望し、訓練に臨みました。

訓練ではやってみると楽しいことが多く、いろんな機器の使い方や安全作業等、製造業の一通りの流れを学んできました。訓練を受けて分かったのは、関連就職先の職種が多いということで、毎日求人を確認してどんな仕事か調べていました。

ポリテク専用求人を見て就職しました。

就職相談室には、訓練生専用の求人もあって毎日更新されています。履歴書等の送付前に条件を電話で確認してもらったり、中には工場見学をさせてもらえる企業もあって驚きました。仕事内容が分からないものが多いので助かりました。



池田プレス工業 松前工場

三木 奈津美さん (61)

[⇒前職：ビルクリーニング(正規)]

溶接ものづくり科

(6か月訓練)

平成30年 1月 入所

平成30年 6月 修了



生涯現役で頑張りたいと思っています。

現在、ポリテクセンターで習得した溶接品質を見る目を活かし、製品検査をしています。一つ一つを丁寧に見る必要がある大事な作業で、製品によって見るポイントが違うので、やりがいを感じています。今後は、ロボット溶接のオペレータをやる予定で、ロボットに条件を指示したり、溶接後の水密検査をやりたいと考えています。

就職先企業での活躍

三木さんの業務

製品の溶接状態や寸法が基準をクリアしているかを目視や道具を使ってチェックし、クリアしたものは梱包して出荷できる状態にしています。



採用者の声 工場長 山本 様

三木さんは人当たりが良く、気が利く性格で非常に助かっています。男性が多い職場に入るのは不安があったと思いますが、入ってすぐに仕事をどんどん覚えてくれるので、他の社員にも良い影響を与えてくれています。本人の持ち味である細かさを活かして、今後も活躍して欲しいと考えています。

池田プレス工業 松前工場 (愛媛県伊予郡松前町) 現在ポリテクの修了生2名が活躍

地場産業である農業機械に使用される部品(油圧パイプ、レバー及びレバークラッチ、ダイロット等)や、建設機械用キャビン(パイプ類)を製造しており、プレス・溶接・切断・加工全般を行っています。

